



秋の森林散策会

滝口自然探勝路

阿寒の自然を楽しむ！

10月14日（土）、秋の森林散策会が阿寒湖畔滝口自然探勝路で行われ、33名（含む常呂川FC2名）が参加しました。

晴天に加え、10月とは思えないような暖かさ、ゆっくりのんびり歩くのに最適です。

滝口自然探勝路は総延長4.2km、スタート直後は急傾斜のアップダウンが続く遊歩道で、足許に不安を感じられる一班は別ルートで合流することとして、集合写真のあと、5班に分かれて散策開始です。



エゾシカが身近に感じられる食痕、多種多様なキノコ類、直径120cmのミズナラなど自然の豊かさ、神秘さを感じながらの散策、紅葉ピークには少し早すぎたようですが、時折、湖岸からのぞむ雄阿寒岳や対岸・中島の紅葉など阿寒の自然、風景を楽しむことができました。

帰路には、道の駅あいおいで名物のクマヤキや豆腐を購入、おみやげ&夕食（？）の準備もOKです。

4.2km、3時間30分の森林散策会はケガ人、脱落者もでることなく無事終了しました。

参加された皆さん、大変お疲れ様でした。
（参加者多数のため、氏名省略）

<近藤>

圧倒的！

秋の森林散策会

自然の生命力

「会」への参加目的は、人それぞれに異なると思いますが、私の最初の目的は運動不足の解消です。

ところが、行くところどころで樹木、草花に触れ、新しい発見があり、知らない事柄（植物）に会うことが楽しみになりました。



今回も初めて歩く所で、どんなものに会えるか、とても楽しみでした。

阿寒（今年？）の紅葉は、全体的に色合いが薄く、例年とはまた違った季節感を感じさせます。

また、シダの群落やカツラの甘い香り（マントール：香気成分）を堪能させていただきました。

特に、根むくれで生じたと思われる4種の樹木が合体している姿には、その生命力に圧倒されました。

同じような植物が続く遊歩道に思いましたが、休息がてらに説明ポイントを何か所か設けてガイド（説明）していただけると・・・ありがたいです。



良い天氣に恵まれ、いい一日を過ごさせていただいたこと、ならびに、日頃より、計画、立案、案内等していただいている役員の皆さんにお礼申し上げます。

ありがとうございます。

<嘉野陽一>（3月入会）

滝口自然探勝路

自然に学び隊

結構キツイ大丈夫かな？

10月3日（火）、12名（含むFC2名）の参加で秋の森林散策会のルート確認等を兼ねた「自然に学び隊活動」を行いました。

滝口自然探勝路は、2022年6月に全線開通したばかりの遊歩道で情報が少なく、遊歩道の状況、所要時間、見所など、誰も知りません。

まずは、滝口の看板から情報収集してスタート、大きな岩の間を通り抜けたり、上ったり下りたりの繰り返しがおおよそ1.0km続きます。

景観やコケ群生などの見所もありますが、参加者の年齢・経験・安全を考慮して別ルート（国道を戻り途中から合流）のグループを作ることとしました。



途中からは、ほぼ平坦な林間歩道、時折湖岸に出ると雄阿寒岳の雄大な姿が現れます。

ミズナラやハルニレ、エゾマツなどの大径木を見ながら歩みを進めるとどこからか硫黄の匂い～ゴールのボッケ到着です。

阿寒湖畔エコミュージアムセンターで情報収集と思ったら休館日、帰りの道の駅あいおいも休み、ちょっと残念な「自然に学び隊」活動でした。

なお、参加者は次のとおりです。【小島、小山、小林、金村、渋谷、大戸、土門、小畑、佐々木、吉田】
＜吉田＞

なるほどクイズ

（答えは会報のどこかに…）

植物の増やし方としてはタネを播くのが一般的ですが、挿し木で増やすこともあります。

ところで、挿した枝から根が出るのはなぜ？



炭つくり & いろいろ食べ隊

晩秋を楽しむ

10月28日（土）、20名（含むFC2名）の参加で「炭つくり & いろいろ食べ隊」を行いました。



カボチャの器？

会長から「今年最後の活動になります。天候が少し心配ですが、みんなの協力で楽しみましょう。」とのあいさつの後、森林散策（食材調達）、調理、炭焼きに分かれて活動開始です。

森林散策グループは、車2台に分乗して展望台へ向かいましたが、下界は真っ白、「心の目で見れば、能取湖・網走湖、天都山を見ることができるはず、天気恵まれれば知床連山まで見渡すことができるので各々でリベンジを」との説明を受け、紅葉トンネル（見ごろは1週間くらい前？）の展望台遊歩道（300mくらい）を散策、その後、みんなで食材調達（オシロイシメジ）、豚汁の具材 & お土産になりました。



調理担当は、渋谷さんをチーフに、豚汁、汁粉、焼き物（串、かぼちゃ、いも等）を完成させていきます。（小畑さんから食材提供ありました。ありがとうございます。）



また、炭焼き担当（小島他）は、初挑戦のカボチャ（中をくりぬいたもの）や経木（薄い板）、定番のマツボックリやオウバユリ、蜂巢（ハスの実）などをスチール缶に入れて薪ストーブの上へ、煙の色と時間を見ながら仕上げました。

心配された天候もどうにか持ち、少し急ぎ足で進めましたが、晩秋の一日を楽しむことができました。

なお、参加者多数のため氏名省略します。

<小島>

森のパネル展

ちょっと さびしい

9月1～10日、緑のセンターで常呂川FCとの共催で「森へおいでよ！パネル展」を行いました。

会の活動や常呂川FCの花・動物パネル、吉田会長の自然素材を活用したクラフト、渋谷の「大人の工作」などの展示と合わせ、9日（土）、10日（日）には、緑のセンター裏山（緑ヶ丘森林公園）の散策会やマツボックリ等を使ったクラフト作成にも取り組み、期間中264名の来場者がありました。

クラフト作成では、一人で数作品を作り上げる者もあり場を賑わせていただきましたが、両日とも晴天・絶好の行楽日より、緑のセンター職員の方から「天気が悪くても、良すぎても、来館者が少なくて…」という声も聞きました。



展示・撤去作業および来場、お手伝いいただいた皆さんありがとうございました。
＜渋谷＞

【なるほどクイズ】 答え

植物には未分化細胞（根・枝・葉など、何にでもなれる細胞）があり、土（水）に挿した切り口に成長ホルモンが集まることで根がでるのです。



挿し木の成功率は、植物の種類、時季、土壌、肥料などによっても大きく変わります。

タネで増やすより短期間で育てることができる、親株と同じ性質のもの（銘柄）を作ることができるなどのメリットがありますが、病気に対する耐性も同じなどのデメリットもあります。

第2回森林づくり塾

植樹&ササ枯れをまなぶ

9月24日（日）、第2回森林づくり塾（常呂川FC主催）が参加者5名プラス常呂川FC3名の少数精鋭で行われました。

午前中は、カミネッコン植樹ヶ所の補植作業です。

かつて植樹したものの何らかの理由で消失した箇所へ、森の家のそばで育てた山取り苗（ミズナラ）を植えます。



しかし、植える場所にはササがビッシリ、刈り払い、根を切り（息を切らし）植え込み穴を掘るのが一苦勞、力を合わせて頑張りました。

午後からは、富里森林公園へ移動、富里ダムの周囲を散策しながら、仁頃山とその周辺のスサの一斉開花とササ枯れの状況を観察、「スサの一斉開花は全道的で60?（120）年周期と言われており、遺伝子によるとの説が有力だが、その原因は明らかでない。スサの実実は栄養豊富であり、ネズミの大繁殖による食害、ササ枯れによりエゾシカの食糧不足による樹皮食害などの林業被害が想定される。また、スサが現状まで復活するには30年程度かかることからその間に多くの稚幼樹の発生・成長が期待できるなどの利点もある」などの説明を受けました。



また、イタチハギやニセアカシアなどの外来種の繁茂状況も確認、植物に罪はないものの外来種問題の難しさを考えさせられました。

なお、参加者は次の通りです。【植村、越野、渋谷、小畑、小林】

＜小林＞

オホーツクみどりネットワーク

鹿の子沢散策会

三本桂だけじゃない！
見どころいっぱい！

10月22日（日）、13名（会からは3名）の参加により、鹿の子沢散策会（主催：オホーツクみどりネットワーク）が行われました。

虹の滝、三本桂、忍び岩、雲突岩、糸引きの滝などを過ぎ、急傾斜を登ると展望台に到着です。

見事な紅葉が広がる…はずだったのですが、今年の紅葉はおしなべて控えめのように少し薄めの景色でした。

鹿の子沢（置戸町常元）は、三本桂をはじめとする樹木だけでなく、滝、巨岩など、見どころいっぱいの景勝地であり、多くの人に訪れて欲しい場所です。

もう少し、参加者を増やす工夫を…との思いで鹿の子沢をあとに「ゆうゆ」で疲れを癒しました。

なお、会からの参加者は次の通りです。【嘉野、斉藤、吉田】

＜吉田＞

オホーツクみどりネットワークの取組み（森林散策会）については、会員全体に周知し、参加を募るべきものと考えます。

しかし、今回の散策会については10月に入ってからのご案内で会員の皆さんにお知らせすることができず、秋の森林散策会（10月14日）参加者への呼びかけとせざるを得ませんでした。

今後に向け、全会員への周知を必要とする取組みについては、余裕をもった計画となるようオホーツクみどりネットワーク等へ意見反映して行きたいと思います。

会 長 吉 田 昭 義

第5回森いく

クリンソウ 傷つけないように

第5回森いくは、9月12日（火）に行われ、午前中は、展望台、クリンソウ遊歩道、十字園周辺、午後からは森の家周辺の草刈り等を行いました。

特に、「クリンソウ遊歩道」については、その名の通り、クリンソウが数多く見られることから開花・結実時期を避けたほうが良いとの判断でこの時期に行ったものです。

なお、参加者は吉田、植村、小山、小林、渋谷、小島の6名です。

<小島>

第6回森いく

毎回新たな作業が・・・

第6回森いくは、10月10日（火）に行われ、午前中は、古の



森遊歩道の木橋の架け替え作業、午後からは、平安遊歩道散策を兼ねて樹名板の撤去作業を行いました。

木橋架け替えは、今年で5箇所目、慣れたものと言いたいところですが、沢の幅や地形が変わるので、いつも初めての作業が伴います。



解体した古い橋材も土留め等に有効活用、みんなの協力で見事に新たな橋を完成させることができました。

なお、参加者は吉田、植村、小山、小林、越野、渋谷、小畑、小島の8名（プラスFC2名）です。

<小島>

経験を活かしています



新型コロナの発生状況等によっては、中止・内容変更になる場合があります。

申込みは、できるだけメール h_tokoro_f@maff.go.jp (常呂川 FC アドレス) をお願いします。

<イベント名、氏名(カナ)、住所、郵便番号、生年月日、連絡先> (様式は任意)

○冬の自然観察会

月 日 2024年3月 2日(土)

常呂川森林ふれあい推進センターからバスが出ます

出発 8:30 (受付 8:00~)

場 所 和琴半島(弟子屈町)

内 容 スノーシューをはいての森林散策・自然観察他

持ち物 森林散策できる服装、昼食、飲み物、マスク等

(スノーシューは無料で借りることができますが、お持ちの方はご持参ください)

参加費 200円(保険料等)

申込み 2月19日(月)まで
予定人員(40名)を上
回った場合は抽選と
します

○2月19日(月)、観察会の下見を
兼ねた「自然に学び隊」活動を行
います。参加希望者は2月13日
(火)までに連絡願います。

(詳細は、参加希望者へ連絡します。)



(アドレス表示)



○第17回総会&研修会

月 日 2024年 3月16日(土) 10:30~

場 所 北網圏文化センター 講座室

研修会 10:30~12:00

テーマ 「野鳥の宝庫 オホーツク」(仮題)

講 師 日本野鳥の会オホーツク支部(予定)

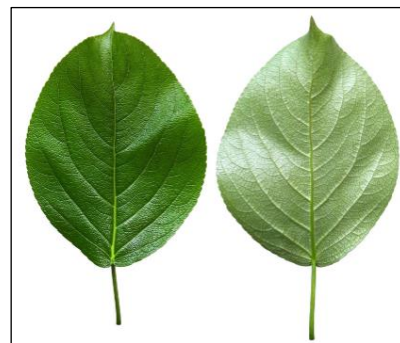
(研修会については調整中ですので、テーマ・講師とも変更となる場合があります。なお、研修会のみ、総会のみ参加も可能です。)

昼食休憩後、総会を開催します。

木々に関するつぶやき

【ドロノキ】（ドロヤナギ）

高さ 30m、太さ 1m以上になる日当たりの良いやや湿った場所や河岸に生える雌雄異株の落葉樹（ヤナギ科）。



樹皮は若い時は滑らかだが、太くなるにつれて縦に深く避ける。心材に炭酸カルシウムを含んでいるため、刃物の摩耗を早める（「泥が入っている」は俗説）。
名前の由来は、泥のような樹皮の色、泥のように柔らかい材質、価値がないからなどの説がある。

会費納入のお願い

当会は皆様からの会費を基に活動を進めており、滞納者が増えると運営に支障を来すことが避けられません。

年会費を滞納し続けた場合は、継続の意思がなく退会と判断せざるを得ません。（退会される方は事務局へ一報願います）



— 納入方法 —

- ・ 会が主催・参加するイベント時に納入（会報等でご確認ください）
- ・ 会の口座（ゆうちょ銀行）に振り込む（手数料がかかります）

ゆうちょ銀行（郵便局）から振り込む場合

【記号 19960 番号 08073231】

他の金融機関から振り込む場合

【店名 九九八 店番 998 普通預金 口座番号 0807323】

森林ボランティア「オホーツクの会」

お問い合わせ



北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター内
森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3
TEL 0157-23-2960 メール h_tokoro_f@maff.go.jp